

長・中期目標・計画

(平成 26 年度～平成 34 年度)



新潟青陵大学 長・中期計画を始めるにあたって

新たな時代に向けて先行きの予測が困難で複雑に変化する現代社会において、大学は主体的にこの新たな課題に対応する必要があります。少子高齢化問題一つを取っても、18歳人口減少による入学定員確保問題に繋がる等の影響があります。文部科学省は、学長のガバナンス強化と教学強化推進、大学教育の質的転換、高大連携、キャリア教育、グローバルとローカル化への対応、地方創生、PDCA サイクルによる自己点検評価と内部質保証等と、矢継ぎ早に大学の改善・改革を求めています。

本学においても、平成22年の本学設立10周年を機に、高度専門職業人の育成を目指した大学院看護学研究科の新設、看護福祉心理学部（看護学科と福祉心理学科）を二学部（看護学部と福祉心理学部）、三学科（看護学科、社会福祉学科、臨床心理学科）に分離改組しました。同時に、大学の理念、目的、他のポリシーの全体的な統一を図り、「こころの豊かな看護と福祉の実践」を大学の理念、「人間性に富んだ看護・福祉の全人的教育」を大学の目的、「生命尊厳・人間尊重」を教育上の理念、「国民の健康と福祉を支える実践的な人材を培う」を教育の目的としました。

このような学内外の多様な社会のニーズや学問の進歩に、受身ではなく半歩先に先行して柔軟な対応が可能なシステム構築が、強く求められています。これを受け、ビジョンは大学の地域の「知」の拠点づくりとし、長期的にはイノベーションセンターづくり、中期的には“新潟青陵学”を育てるプラットフォームづくり”と、その立つ位置を明確にしました。これは、進行中の文科省の大学教育の質的転換を目指す新方針に沿い、本学の看護学、福祉学、心理学を協働して教育できる特徴を踏まえた教育の基本的な考えへと繋がります。地域の「知」の拠点として二学部が連携し、「ケアのこころ」を基本とする「新潟青陵学」の醸成・獲得を目指し、新たな3つのポリシーも含む教育イニシアティブ(学位授与ポリシー(DP)、教育課程の編成ポリシー(CP)、入学者受入れポリシー(AP)、教育の質の向上(QC))を進める予定です。

長・中期計画の活動基本項目として、6項目（「組織・運営基盤」、「入試」、「教育（教学）」、「研究」、「学生支援」、「社会連携」、「国際化」）を定めました。これらの基本項目に沿って、学部、研究科、事務局と、それらに属する各種委員会の諸活動を、PDCA サイクル方式を毎年繰り返して内部質保証を推進・履行する方式も併せて導入しました。期間は平成27年度から開始し、平成29年度までの活動を中間評価し、平成32年度に最終評価を実施する予定にしています。

新潟青陵大学 長期目標

(平成 27 年度(2015 年度)－平成 32 年度(2020 年度))

地域の看護・福祉・心理分野の
イノベーションセンターとしての大学とする

新潟青陵大学 中期目標

(平成 27 年度(2015 年度)－平成 29 年度(2017 年度))

「新潟青陵学」を育てる
教育・研究・社会連携プラットフォームを形成する

新潟青陵大学

長・中期目標基本項目及び中期活動課題

基本項目Ⅰ. 「組織・運営基盤」の中期目標

大学のたゆまざる進展を図る組織・運営基盤構築

中期活動課題

1. 自己点検評価と連動した大学の内部質保証の確立
2. 学士・修士課程充実と、学部・大学院（修士、博士課程）新設・拡充
3. 業務の効率化と教職協働・連携強化による組織体制の確立”
4. キャンパス内の学習・居住・運動環境整備

基本項目Ⅱ. 「入試」の中期目標

18歳人口減少、進学率増加、社会の多様化に対応した入試システムの改善と広報活動強化

中期活動課題

1. 18歳人口減少に対応する入試システムと関連広報活動の強化
2. アドミッションポリシーの明確化による良好な学生の確保
3. 高校との連携強化による高い学習能力のある学生確保
4. 質の高い入試への対応と効率的な入試業務の構築

基本項目Ⅲ. 「教育（教学）」の中期目標

教育の質的転換と教育環境整備

中期活動課題

1. 教学の多様性に即応可能な基盤の形成
2. 教学の質的転換促進による質保証

基本項目Ⅳ. 「研究」の中期目標

教育、地域活動にも繋がる実践的研究の推進

中期活動課題

1. 外部・内部の競争的研究費の獲得による教育・研究の推進・強化
2. 学術集会、学術誌への教育・研究成果の公開
3. 教育・研究成果のグローバルな発信

基本項目Ⅴ. 「学生支援」の中期目標

充実し安心できる学生生活の保証

中期活動課題

1. 学生相談・支援活動の整備・拡充
2. 充実した学生生活の確保
3. 人とのつながりを促進する課外活動、課外教育プログラムの改革と強化
4. キャリアセンターによる地域と協働するキャリア教育実践体制構築

基本項目Ⅵ. 「社会連携と生涯学習」の中期目標

看護・福祉・心理学などの分野と関わる

ステークホルダー※との協働による地域振興・活性化

※学生、教職員、地域住民、行政機関、関連する諸団体・機関）を指す。

中期活動課題

1. 本学の社会連携活動を“第三の使命”と明確に位置づけた活性化
2. 教育・研究の積極的が発信と教職員の教育・研究の活性化
3. ステークホルダーとの協働・連携強化による地（知）の拠点形成

基本項目Ⅶ. 「国際交流」の中期目標

看護・福祉・心理学分野のグローバル化への対応

中期活動課題

1. 海外研究者・学生との交流推進に向けたグローバルネットワーク構築
2. グローバル化に則した国際理解の教育・研究の強化・推進

新潟青陵大学 長・中期計画

長期目標（2014－2023年）：地域の看護・福祉・心理分野のイノベーションセンターとしての大学とする 中期目標（2014－2018年）：「新潟青陵学」を育てる教育・研究・社会連携プラットフォーム・ホームを形成する		年次計画案 (イメージ、目安として示している)								実施主体		
基本項目Ⅰ. 「組織・運営基盤」の中期目標：大学のたゆまざる進展を図る組織・運営基盤構築		2014 H26年 度	2015 H27年 度	2016 H28年 度	2017 H29年 度	2018 H30年 度	2019 H31年 度	2020 H32年 度	2021 H33年 度		2022 H34年 度	
中期活動課題		中期活動計画										
1	自己点検評価と連動した大学の内部質保証の確立	1. 内部質保証としての評価体制の確立と評価結果の公開 2. IR推進室による内部質保証に資する各種データの集積(データバンク)と解析 3. 教育・研究・社会貢献・管理活動における優れた教員への表彰制度の検討	←	←	←	←	←	←	←	←	←	自己点検・評価委員会 IR推進室 FD、事務局
2	学士・修士課程充実と、学部・大学院（修士、博士課程）新設・拡充	1. 教員の教育・研究環境の整備（サブディカル制度導入等） 2. 教員の学問的素質の向上と専門性強化による人材育成 3. 学部、学科、研究科の増設・新設	←	←	←	←	←	←	←	←	←	事務局 FD、事務局 学部、研究科
3	業務の効率化と教職協働・連携強化による組織体制の確立	1. 職員の職位別能力の明確化と専門性を併せ持つ組織体制 2. FD・SD活動による良質な教職員育成と連携体制による教育・研究・社会連携・管理運営の向上 3. 学園としてのスケールメリットの活用と適切な人員配置による事務組織	←	←	←	←	←	←	←	←	←	事務局 FD、SD、事務局
4	キャンパス内の学習・居住・運動環境整備	1. キャンパス内の教育、運動、交流、文化活動環境整備 2. 教学の将来の方向性を見据えた校舎機能の整備・拡充	←	←	←	←	←	←	←	←	←	事務局 事務局
基本項目Ⅱ. 「入試」の中期目標：18歳人口減少、進学率増加、社会の多様化に対応した入試システムの改善と広報活動強化		中期活動計画										
1	18歳人口減少に対応する入試システムと関連広報活動の強化	1. 学生定員確保へのマーケティングリサーチと広報活動強化 2. 受験者動向と学校側の指導方針等の解析・把握による入試対応 3. 教員の得意分野、学科のPRポイントなどが反映された広報内容の充実・強化 4. 学生募集につながる奨学助成制度の検討	←	←	←	←	←	←	←	←	←	広報企画 広報企画・入試 広報企画委員会 事務局
2	アドミッションポリシーの明確化による良好な学生の確保	1. 求める学生の獲得と、高校卒業前に予め修得しておくべき内容・水準の明確化 2. 高大接続を配慮した初年次教育プログラムの充実	←	←	←	←	←	←	←	←	←	学部・学科（入試・教務） 教務
3	高校との連携強化による高い学習能力のある学生確保	1. 県内高校との連携強化による質の高い学生の確保 2. 高大一貫コースを中心とする新潟青陵高校との互恵的関係の構築	←	←	←	←	←	←	←	←	←	広報企画、入試委員会 学部・学科
4	質の高い入試への対応と効率的な入試業務の構築	1. 受験生の利便性向上を考慮した入試手続きの改善（Web出願など） 2. 社会人入学・留学生の受け入れ策、入試制度変更への対応等の多様な入試方法の検討 3. 学園内入試情報の共有化と入試業務の効率化 4. 入試区分毎の入学後学習状況の追跡調査による入試区分毎の入学定員の改善	←	←	←	←	←	←	←	←	←	入試部・事務局 学部、入試委員会 入試部・事務局 入試部・事務局
基本項目Ⅲ. 「教育（教学）」の中期目標：教育の質的転換と教育環境整備		中期活動計画										
1	1 教学の多様性に即応可能な基盤の形成	1. FD・SD推進による教育力開発・充実と、教職協働の相乗効果による教学システムの運用 2. ディプロマ・カリキュラム・アドミッションポリシー（3P）に基づく教学の推進 3. 成績評価の厳格化と、GPAの実質化による履修諸条件の基準作り 4. 履修系統図、ナンバリングによる全授業科目の体系化（3と連携）	←	←	←	←	←	←	←	←	←	FD委員会・事務局 学部・研究科・教務委員会 学部・研究科・教務委員会 学部・研究科・教務委員会
2	2 教学の質的転換促進による質保証	1. 学生の主体的学習を確保する学習環境の改善 2. カリキュラム・ポリシーに基づく授業改善 3. ディプロマ・ポリシーに基づく学習成果の把握 4. 学習成果としての資格獲得と進路状況把握と改善 5. 大学と大学院（修士）が一体化した教育システムの導入	←	←	←	←	←	←	←	←	←	情報化推進委員会 FD委員会 教務委員会 学部・研究科・教務委員会 学部・研究科・教務委員会
基本項目Ⅳ. 「研究」の中期目標：教育、地域活動にも繋がる実践的研究の推進		中期活動計画										
1	1 外部・内部の競争的研究費の獲得による教育・研究の推進・強化	1. 外部研究資金獲得推進・強化と知的財産の獲得・管理 2. 学術研究委員会の強化・改組による研究のシーズとなる共同研究費活用支援の充実	←	←	←	←	←	←	←	←	←	研究推進室 同上
2	2 学術集会、学術誌への教育・研究成果の公開	1. 新潟青陵学会の活性化 2. 専門分野学会発表並びに和文並びに欧文による論文投稿の強化・推進	←	←	←	←	←	←	←	←	←	同上 新潟青陵学会
3	3 教育・研究成果のグローバルな発信	1. 機関リポジトリや類似方法による研究成果の積極的公開	←	←	←	←	←	←	←	←	←	図書委員会
基本項目Ⅴ. 「学生支援」の中期目標：充実し安心できる学生活動の保証		中期活動計画										
1	1 学生相談・支援活動の整備・拡充	1. 関連部局の連携による総合的な学生支援体制の強化 2. 障害をもった学生への支援体制強化 3. アドバイサーの質の向上と、学生カルテ・ポートフォリオ等を用いた最適な学生支援強化	←	←	←	←	←	←	←	←	←	学生支援センター 事務局 学生委員会
2	2 充実した学生活動の確保	1. 退学者の背景と対応を解析による退学者の早期発見・対応 2. 経済的困窮度の高い学生への奨学支援制度の充実 3. 成績優秀学生への奨学金制度の創設 4. 保護者懇談会の拡充 5. 同窓会組織の強化による在校生支援の充実	←	←	←	←	←	←	←	←	←	学生委員会 学生委員会 事務局 事務局 事務局 事務局・キャリアセンター
3	3 人とのつながりを促進する課外活動、課外教育プログラムの改革と強化	1. ボランティアセンターにおける関連活動拠点拡充と情報交換等による人材育成推進 2. メディアキャンパスを活用した地域貢献活動を通じた学生の社会人基礎力養成・強化 3. 課外活動用施設・環境充実による活動内容の拡充・活性化	←	←	←	←	←	←	←	←	←	ボランティアセンター 学生委員会・事務局 教務委員会
4	4 キャリアセンターによる地域と協働するキャリア教育実践体制構築	1. 地域社会・産業界の要請に対応できるディプロマ・ポリシーに基づくキャリア教育の充実 2. 学生のキャリア形成に繋がる就業力育成体制の強化 3. 地域と協働したキャリア教育実践に向けたインターンシップ型キャリア教育プログラムの導入	←	←	←	←	←	←	←	←	←	キャリアセンター キャリアセンター キャリアセンター
基本項目Ⅵ. 「社会連携と生涯学習」の中期目標：看護・福祉・心理学などの分野と関わるステークホルダー*との協働による地域振興・活性化 (*学生、教職員、地域住民、行政機関、関連する諸団体・機関)		中期活動計画										
1	1 大学の社会連携活動を「第三の使命」と明確に位置づけた活性化推進	1. 社会連携プロジェクトを積極的に企画・支援を行うシンクタンク設置による社会連携事業の強化・推進 2. 社会に貢献できる自律的人材としての社会連携事業コーディネーター及びリサーチアシスタントを行う人材育成	←	←	←	←	←	←	←	←	←	地域貢献センター 地域貢献センター
2	2 教育・研究の積極的発信と教職員の教育・研究の活性化	1. 大学の主要活動と連動した公開講座の強化・推進 2. 研修センターにおける大学の教育・研究と関連する各種研修による地域の人材育成の強化・促進 3. 科目履修生制度、特別受講生制度の活発な展開	←	←	←	←	←	←	←	←	←	地域貢献センター 地域貢献センター 地域貢献センター
3	3 ステークホルダーとの協働・連携強化による地（知）の拠点形成	1. 地元自治体等と包括協定を締結し、幅広い地域連携活動の推進による「知の拠点」形成 2. サテライトキャンパスにおける学生・教員の教育・研究と、地域住民の生涯教育推進 3. 大学施設（図書館等）の市民・地域への開放促進 4. 「なぎさ荘」の有効活用推進 5. 近隣地域の保健的セイフティネット構築	←	←	←	←	←	←	←	←	←	地域貢献センター 地域貢献センター 図書館 なぎさ荘管理運営委員会 地域貢献センター
基本項目Ⅶ. 「国際交流」の中期目標：看護・福祉・心理学分野のグローバル化への対応		中期活動計画										
1	1 海外研究者・学生との交流推進に向けたグローバルネットワーク構築	1. 海外の大学間協定締結拠点大学との国際学術交流促進	←	←	←	←	←	←	←	←	←	国際交流
2	2 グローバル化に則した国際理解の教育・研究の強化・推進	1. 外国語教育の充実 2. 海外での技術研修、ボランティア活動の拡充 3. 学生の留学支援プログラムの設置・促進 4. 留学生受け入れの検討	←	←	←	←	←	←	←	←	←	教務 教務 教務・国際交流 教務・国際交流